

①RESASにおける生産（付加価値額）の分析では、第3次産業が388億円の付加価値を生産、第2次産業が92億円、第1次産業が3億円となっており、3次産業の寄与度が高いことが伺える。従業者一人当たりの付加価値額（労働生産性）では、第1次産業が206万円で、全国1,719市区町村中1,136位で優位に立っているとは言えない。第2次産業では同じく1,365万円で200位、第3次産業は1,120万円で51位となっており、高い優位性を有している。

②松田町に滞在している人口の市町村別人口割合（10時及び14時）を見ると、平日に県外からの滞在が1%に満たない程度で存在するが、ほぼ県内市町村民の滞在となっている。県内市町村別の割合で見れば、松田町に次いで平日・休日ともに、南足柄市、小田原市、秦野市の順で同様となっており、観光ではなくビジネスでの滞在が多いことが推察される。

③産業構造における企業数では、「不動産業、物品賃貸業」が最も多い。これは、交通アクセスの良い立地の好条件から、土地所有者によるアパート経営が多いことが考えられる。ただし、売上高で見れば製造業が最も多く、製造業の企業数が少ないことを踏まえると、特定の企業の影響が大きいことを示している。